

第1次経営計画 (計画期間:2021年10月~2023年3月)

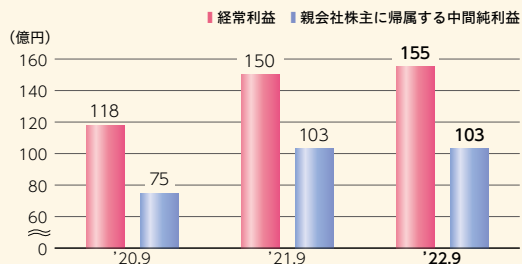
私たちのめざす姿

ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ

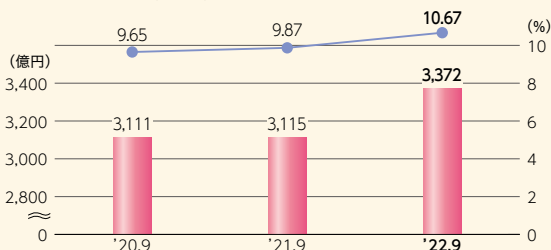


業績ハイライト

経常利益・中間純利益(連結)



自己資本比率(連結)



※当社は2021年10月1日設立のため、2021年9月期以前の計数は、参考として十六銀行を親会社とする十六銀行連結決算の計数を記載しています。

株式情報

決算日	毎年3月31日に決算を行います。
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
配当金	期末配当は、毎年3月31日を基準日として、定時株主総会終了後、ご指定の方法によりお支払いいたします。 中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日として、同様の方法によりお支払いいたします。
基準日	定時株主総会については毎年3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
公告方法	電子公告といたします。 当社ホームページ (https://www.16fg.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞および岐阜市において発行する岐阜新聞に掲載して行います。

株主優待制度

当社では、株主のみみなさまの日頃のご支援およびご愛顧にお応えするため、下記のとおり「株主優待制度」を実施しています。

夏の株主優待 基準日 3月31日

対象/ 当社株式を100株以上保有の株主さま



ナチュラルミネラルウォーター「高賀の森水」1箱(500ml×24本)

冬の株主優待 基準日 9月30日

対象/ 当社株式を500株以上保有の株主さま



地元の名産品等の中から1点選択 (画像は2022年度のもの)

Profile

商号	株式会社十六フィナンシャルグループ
所在地	岐阜県岐阜市神田町8丁目26番地
事業内容	・銀行および銀行法により子会社とすることのできる会社の経営管理 ならびにこれに付帯関連する一切の業務 ・銀行法により銀行持株会社が営むことができる業務
資本金	360億円
設立日	2021年10月1日
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場および名古屋証券取引所プレミアム市場 (証券コード:7380)

十六フィナンシャルグループのホームページはこちら▶
<https://www.16fg.co.jp/>



発行:株式会社 十六フィナンシャルグループ
グループ企画統括部
岐阜市神田町8丁目26番地 TEL(058)207-0016(代)
発行日:2022年11月30日

UD FONT

軽やずいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



16 Report

じゅうろくレポート

2022年9月期

人と、地域と、未来をむすぶ
十六フィナンシャルグループ



平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

ここに、当社グループの営業の概況やトピックスを要約した報告書「16Report」を作成いたしましたので、どうぞご覧ください。

昨年10月1日、十六銀行グループは「地域総合金融サービス業」へと転換をはかるため、持株会社体制に移行し、株式会社十六フィナンシャルグループを設立いたしました。こうして、つつがなく1周年を迎えられましたのも、みなさま方のご支援とご厚情の賜物と厚く御礼申し上げます。

低金利政策の長期化や業種・業態を超えた競争の熾烈化など、地域金融機関を取り巻く環境が大きく変化し、不確実性が高まるなか、「先が読めないことを前提にした」経営が求められています。当社グループは、「この地で生まれ、育てられ、これまで支えていただいた地域のみなさまの成長と豊かさを実現する」という想いを胸に、「ともに地域の未来を創造し、ともに持続的な成長を遂げる総合金融グループ」を目指してまいります。

みなさま方におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 **池田直樹**

トピックス

十六フィナンシャルグループ 設立1周年

当社は、2022年10月1日に設立1周年を迎えました。

これからも、「地域総合金融サービス業」として、グループの連携を一層強化し、お客さま・地域のお役に立てるフロントランナーとなることで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



本年10月に開催した「十六フィナンシャルグループ トップ懇談会」において、お客さまへご挨拶する池田社長

信託業務への銀行本体参入と全国初となる信託商品のリリース

十六銀行は、2022年9月27日に信託兼営認可を取得し、銀行本体で信託業務の取扱いを開始しました。

お客さまの「終活」をサポートする「じゅうろくおひとりさま信託<未来よろしくたく>」は、お亡くなりになった後の事務の受任とその費用に関する金銭信託を“ワンパッケージ”にてお引受けできる全国初の商品です。信託業務参入を機に、これまで以上にお客さまの多様な相続・資産承継のニーズにお応えしてまいります。



ローカル・クラウドファンディング“OCOS”のスタート

ローカルクラウドファンディング



OCOS (おこす)

「ローカルにまわる経済をおこす」をミッションに掲げ、2022年4月1日に設立した「カンダまちおこし株式会社」は、東海地区の金融機関では初の取組みとなる、ローカル・クラウドファンディング“OCOS”（おこす）をスタートさせました。地域におけるクラウドファンディングの浸透を通じて、事業やプロジェクトに対する新たなマネーフローの創出をはかり、ローカルビジネスの活性化や社会課題の解決につなげてまいります。



“OCOS”のウェブサイトはこちら



サステナビリティへの取組み

サステナビリティKPIの設定

当社グループでは、サステナビリティへの取組みを一層推進していくために、5つの重点課題(マテリアリティ)に対して「サステナビリティKPI」を設定しています。

2030年度までの目標

重点課題	項目	数値目標
地域経済の活性化	サステナブルファイナンス実行額(うち環境分野)	2兆円(8,000億円)
	グループ預り資産残高	5,500億円
地域社会の持続的発展	ソーシャルインパクト投資	20億円
	DX支援コンサルティング件数	3,000件
環境保全と気候変動対策	CO ₂ 排出量(2013年度比)	50%削減
	紙使用量(2019年度比)	50%削減
多様な人材の活躍推進	女性管理職比率	20%
	有給休暇取得率	80%

継続的に取り組む目標

重点課題	項目	数値目標
ガバナンスの高度化	危機発生時における初動対応訓練の実施	年2回以上
	投資家との対話	年10回以上

「サステナミーティング」の開催

当社グループでは、サステナビリティへの理解を深めるために、経営陣と職員による「サステナミーティング」を定期的に開催しています。この「サステナミーティング」は、募集形式による少人数のミーティングで、堅苦しい会議ではなく、カフェスタイルのリラックスした雰囲気なかで開催されています。

「働き続けたい会社ってどんな会社?」などをテーマに、参加者が日ごろ感じている率直な想いを語るなど、サステナビリティの理解促進に向けた関連な意見交換がなされています。



池田社長と意見交換を行う参加者たち